

# 利根川河口 銚子湊と周辺

絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

紀伊・房総

## くろしお物語

◇29◇

銚子(千葉県)を久(1.5キロ)を見ると川しづりに訪ねた。まず利根川の銚子漁港の第一卸売市場の岸壁に立った。銚子大橋(全長

断行した徳川家康の東遷事業が思い浮かんだ。

1590(天正18)

年、江戸に入った徳川家康はまず街づくり

に、利根川の水運の整備が必要と考え、関東

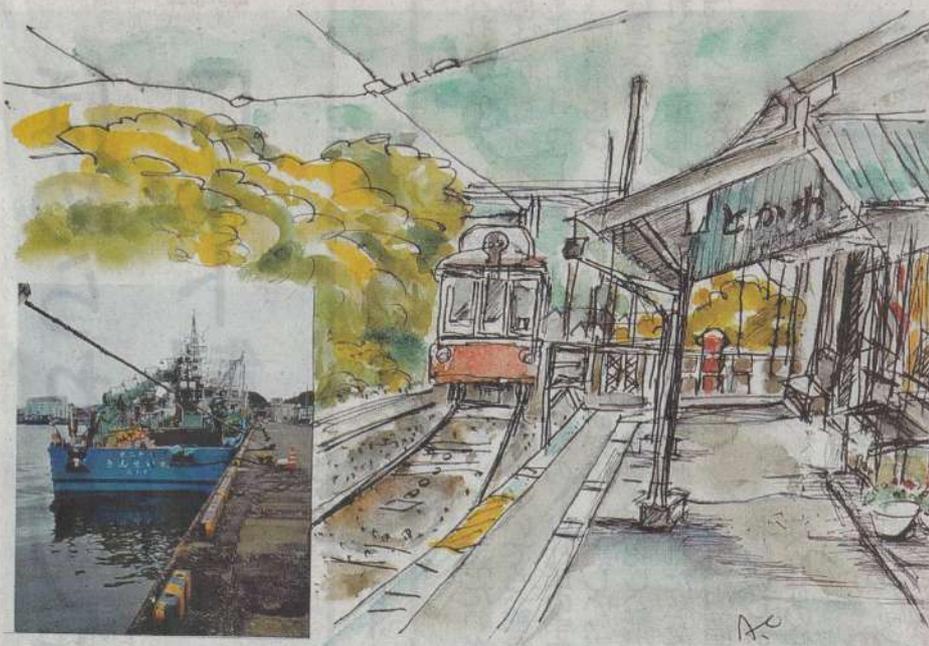
郡代に関東周辺の河川

改修に当らせた。東京

湾に入る利根川を香取海(銚子、太平洋方面)

今岸壁から河口を見、香取海に見え、江戸・東京へ干鰯(しほ)や、米などの物資が運ばれたさまが目につく。

白亜の美しい犬吠埼灯台などを経て外川港へ。外川港はリフレッシュされて昔の面影はなくなき、キンメダイを主にした釣りの船基地として、小型船ばかりが停泊していた。遠洋漁業の銚子漁港と近海漁業の外川港は住み分けされて共存していた。外川港から坂を上ると銚子駅とつなぐ6.4キロの銚子電鉄の外川駅が健在しており、昔も今



## 発展の可能性眠る港

堀川開削が大々的に行われ、利根川本流は常陸川につながり、利根川の下流の一方は江戸川を経て東京湾に至る流路と、他方は常陸川を経て香取海(銚子、太平洋)に至る流路ができた。その分岐点が関宿(野田市)。これで銚子の物流拠点が固まったわけだ。外川港を築いた崎山治郎右衛門も承知していたであ

板で修理している乗組員に声を掛けた。キャリアを尋ねると、「八を誇っているように思えた。利根川の水運と太平洋の水産資源に加え温暖な地理的条件も重なり、まだまだ将来に向かって新たな事業が発展する可能性が銚子には潜在していると感じた。銚子の明るい未来を思いつつ総武線難犠牲者の千人塚、義特急に飛び乗り帰路に経伝説の多い君が浜、